



何もない空中に映像だけが浮かび上がる次世代映像技術をご体験ください

会社概要

株式会社パリティ・イノベーションズは「空中映像」という次世代映像技術の研究開発と社会への普及を目的として設立された、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)発のベンチャー企業です。NICTで行われていた「2面コーナリフレクタアレイの研究」の成果である置くだけで空中映像が浮かび上がる光学素子「パリティミラー[®]」を世界で初めて開発。パリティミラー[®]の量産化、大型化、さらにそれを用いた応用システムの試作など様々な研究開発を行っています。空中映像の応用・普及を促すとともに、今までにない画期的なディスプレイツールとしてパリティミラー[®]を用いた応用システムを開発し、その魅力を最大限に訴求しています。

SF映画やアニメの世界が目の前に

パリティミラー[®]の応用例として、指の位置を検出するセンサー・指の位置情報に応じた画像を表示するアプリと組み合わせることにより、空中映像にさわって操作できる「フローティング・タッチ・ディスプレイ」を開発しました。次世代のユーザインタフェースとして様々な場面での使用が期待されます。また、実物体と空中映像を重ねて表示できるため、AR(拡張現実)を実世界で表現することができます。まさにSF映画やアニメの世界で出てきた表現をご体験ください。

※ホログラフィとは異なる原理です。



※画像はイメージ図です。

パリティミラー® — 映像が浮かび上がる鏡 —

パリティミラーの概要

パリティミラー®は多数の直交ミラーで構成された、2面コーナリフレクタアレイ(Dihedral Corner Reflector Array:DCRA)構造を持つ結像光学素子です。このDCRA構造は光線を細かく分割、幾何光学的にそれらを集めることで、面对称位置に結像させる作用を持ち、最新のナノテクノロジーを駆使することで実現することができました。

特徴

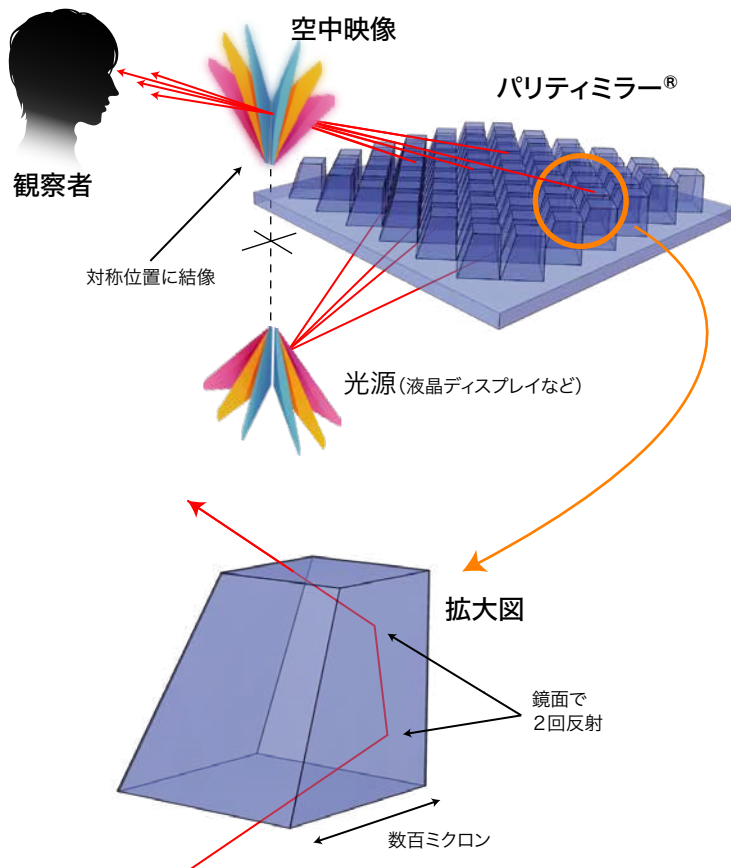
従来の映像表示技術にはない以下のような特徴を持ち、実物のような存在感・臨場感がある空中映像を表示できます。

- 特殊なメガネなどが不要
- ソース画像をそのまま使用可能
- 実物を映し出すことも可能
- フルカラー表示可能
- 空中像には歪みが発生しない

※空中映像の背景にパリティミラー®が配置された位置関係でのみ空中映像を見ることができます。また、現在の製造技術の制限により、観察は正面からに限定されます。

※立体の実物を表示する場合、凹凸が反転した空中映像が表示されます。

パリティミラー®で空中映像が見える仕組み



応用例 ※一部画像はイメージ図です。



非接触ユーザーインターフェース

空中映像技術とセンサーを組み合わせることにより物理的な接触なしに空中映像にふれて操作できるエアスイッチ、エアタッチパネルを実現



「SF・ファンタジー世界の映像表現が当たり前前に存在する社会を作る」

株式会社パリティ・イノベーションズは2010年12月に設立され、光学部品/システムの企画・開発・設計および産業財産権の取得・ライセンス事業などを展開しています。新しい光学素子「パリティミラー®」の量産化、大型化、さらにそれを用いた応用システムの試作などの様々な光学素子の実用研究/システム開発を行っています。

現在、パリティミラーのサンプル販売やデモ機見学が可能です。また、共同開発・研究のご提案も随時受け付けております。お気軽にお問い合わせください。

(株)パリティ・イノベーションズ 本社
〒619-0289
京都府相楽郡精華町光台3-5 NICTビル

研究所
〒577-0011 大阪府東大阪市荒北1-4-1
クリエイション・コア東大阪

お問い合わせ先
E-mail info@piq.co.jp
URL http://www.piq.co.jp

